

庄内町議会議員・最上川土地改良区理事に現場説明

最上川下流左岸農業水利事業所では、令和３年１０月２５日(月)、受益地である庄内町の町議会議員及び最上川土地改良区理事に対して当事業の現場説明を実施しました。

今回の現場説明は、最上川土地改良区が主催する土地改良事業に関する庄内町議会議員との意見交換会の一環として毒蛇排水機場の工事現場を実際に見ていただき、事業への理解を深めてもらうことを目的に実施したものです。当日は総勢３３名に現場の施工状況を視察していただきました。

令和元年８月より着手した毒蛇排水機場の工事は、旧機場に隣接し限られたスペースでの施工となり、現在３年目を迎えます。当日は新機場の建屋を建設している状況でした。

事業所からは、当地区の受益面積は 5,921ha だが、山地等の排水流域を含めると約 1 万 ha の排水を対象に 6 カ所の排水機場等により排水を行う事業計画であることや、新・旧排水機場の能力等の概要、排水方法について説明し、参加者からは建屋内に設置するポンプ設備の設置スケジュールや稼働動力、除塵機の設置位置、仕上がり敷高等の質問・意見をいただきました。

当事業所としては、今後もより多くの方に事業に対する関心を持っていただき、理解を深めてもらえるよう活動してまいりたいと考えています。



事業所職員による現場説明の様子

【毒蛇排水機場の概要】

項 目	現 況	計 画
排水量	9.33m ³ /s	12.90m ³ /s（約 1.4 倍）
排水機	横軸軸流 φ1200×3 台	横軸斜流 φ1200×4 台
発動機	ディーゼルエンジン×3 台	ディーゼルエンジン×4 台



既設毒蛇排水機場全景



既設排水機場ポンプ設備



実施状況（R3.10 撮影）